

		個に応じた指導方法を工夫・改善する。	定期的にテスト結果を分析し、TT・少人数による個に応じたきめ細かな指導のポイントを把握する。
●学力向上	基礎学力向上	言葉の特徴やきまり、漢字、計算力を身に付けた児童を育成する。	①言葉の特徴やきまり、漢字、計算力の定着に係る学習環境を整備する。 ②武雄市漢字・計算検定テストを実施し、結果を記録する。
		言語力・読解力を身に付けた児童を育成する。	「言語力向上年間指導計画」を基に、「身に付けさせたい力」と「学習用語」を系統的に指導する。
		伝統的な言語文化に親しむ児童を育成する。	論語、百人一首などの言語文化を体験する週間を全校一斉に実施する。
	図書館教育	自から進んで読書に親しむ児童を育成する。	目標冊数の提示や図書館祭りの実施、家読の啓発を通して読書習慣を身に付けさせる。
	学習習慣形成	学習・生活習慣を確立する。	学習・生活習慣形成について共通理解させ、「学習用具のきまり」を各学級に掲示したり、チェック週間を年3回(4月・9月・1月)設けたりする。
●ICT利活用教育の推進	ICT機器を活用した指導力向上	ICTを活用した指導方法を工夫・改善する。	ICTを活用した指導方法の工夫などに係わる研修会を実施したり、環境整備を行ったりする。
	ICT機器活用力の育成	ICT機器を活用して進んで学習する児童を育成する。	ICTスキルタイムを計画的に実施し、児童にiPadのスキルを身に付けさせ、授業で活用できるようにする。
●心の教育	特別活動	望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育成する。	①活動前に集会や活動のねらいを明確にし、めあてを持って活動できるようにする。 ②集会の終わりに、ねらいに即して活動できたかを振り返る時間を設ける。 ①児童が自主的に活動する時間を設定するとともに、活動ノートや振り返りカードを準備し、児童自らが話し合っって計画、実行できるようにする。 ②年度初めに、提案カードの書き方を紹介し、年間を通して、書かれたカードの紹介を行い、自分達の課題として解決しようとする意識を高める。
		勤労・奉仕活動	感謝の気持ちを持ちながら、学校及び地域の一員として勤労する喜びを感じさせ、自己有用感を育む。
	縦割り班活動	異学年交流において互いを思いやる気持ちを持って、活動に楽しく協力する態度を育成する。	共遊で、計画表、振り返りカードを作り、めあてに沿って活動させ、振り返りも行う。
	人権・同和教育	すべての児童が思いやりと信頼のもとづく人間関係の下に学校生活が送れるようにする。	「ハートの木」を作り、年間を通して友だちのよさや頑張りを書き込ませ、認め合う活動を行う。 各学級で、学活や道徳などの年間計画にエンカウンターを取り入れた授業を位置づける。
		教師の特別支援教育のスキルアップを推進する。	学期に1回程度、特別支援教育に関する研修を実施する。
	特別支援教育	個別の指導支援計画の作成と支援を推進する。	①個別の支援指導計画を立てる時に参考となる研修会を設け定期的に目標が達成できたか振り返る時間を設定する。 ②個別の支援計画については修正を呼びかけ、指導に生かせるようにする。
		教育相談	きめ細やかな相談体制、SCや専門機関と連携しながら効果的な対応にあたる。

教育活動

			児童や担任、保護者間の教育相談の体制を設定し、効果的な対応にあたる。	①SCや専門機関との連携を図り、きめ細やかな相談体制をつくる。 ②教育相談に関するスキルアップを図るために、SCや専門機関による職員研修を行う。
●健康・体づくり	体育的活動		体力の向上を図る体育的活動と運動旬間を充実させる。	学校内外の体育的活動毎に児童の体力向上の意義を明確にし、計画的に実施していく。 寒さに負けない体づくりのために、マラソン旬間や縄跳び旬間を計画的に実施していく。
	保健指導		病気の予防と怪我の防止を徹底させる。心身共に健康な体作りのために保健指導を充実させる。	病気や怪我予防についてお便りや学級指導等で啓発する。 保健室で問診し早寝早起き朝ご飯について個別指導をする。また、お便りで保護者の協力を求め、連携を図る。
	食育・給食指導		正しい食生活と望ましい食習慣を理解させる。	食育強調月間を設け学級指導を行う。放送やお便りを通して指導する。
	生活習慣形成		学校や家庭での生活習慣を確立させる。	月ごとに「くらしのめあて」を教室に掲示したり、全校朝会で指導したりする。 ノーテレビ・ノーゲームデーの呼びかけや結果発表をする。
	交通指導		交通事故防止を目指す交通安全教育を推進する。	交通指導週間や交通教室を設け、事故の具体的な事案を示して、実態に即した指導を行う。
	地区児童会		安全安心を目指す集団登下校や地区での生活を徹底させる。	集団登下校のきまりを守らせるとともに、地域の方の協力を得ながら、安全な登下校を徹底させる。
	防災指導		日常生活における災害への対処のしかたを理解させる。	火災・地震・不審者対応の避難訓練を実施し、安全確保の指導を行う。
	清掃指導		感謝の気持ちをもって、日常の掃除や大掃除にまじめに取り組ませる。	掃除の仕方を共通理解させ、学級で日常指導をする。掃除強化週間を設定する。

③ きめ細やかな連携

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
	●小学校低学年の学習環境の改善充実	生活習慣、学習習慣の定着	低学年の間に身につけておくべき生活習慣・学習習慣の定着を図る。	①TTによる指導を低学年から導入し、きめ細やかな学習指導を通して学習習慣を確立させる。 ②生活カードを作成し、家庭と協力しながら基本的な生活習慣を身につけさせる。
	○小中連携	学習習慣形成 生活習慣形成 小中交流	北中校区で作成した9年間の学習習慣・生活習慣づくりをもとに、各学年の発達段階に応じた取り組みを通して定着を図る。	「学び」と「くらし」の振り返りシートを使ったチェック等を定期的に行い、保護者と連携して児童の育成に努める。

 本年度の重点目標の評価項目として含まれていない共通評価項目がある場合に記入する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策

●は共通評価項目、○は独自評価項目